



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年2月7日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績 (2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	18,036	4.6	1,505	11.1	1,406	5.7	908	4.9
2019年3月期第3四半期	17,237	12.7	1,355	35.4	1,330	40.5	865	18.5
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第3四半期	114.41		—					
2019年3月期第3四半期	109.10		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	36,452	9,661	26.5
2019年3月期	36,865	8,841	24.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 9,661百万円 2019年3月期 8,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	10.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	11.0	1,800	15.4	1,700	8.4	1,600	36.6	201.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	8,143,390株	2019年3月期	8,143,390株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	206,234株	2019年3月期	206,168株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	7,937,186株	2019年3月期3Q	7,937,239株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用・所得情勢が堅調に推移したものの、海外経済の減速に伴う輸出の低迷などを背景に、景気には足踏み感が見られました。

世界経済は、米国では製造業を中心に減速感もみられる中、良好な雇用環境・金融環境により個人消費も底堅く堅調に推移しました。一方、欧州では景気に底入れの兆しは見られるものの経済は低成長を継続、中国でも米中貿易摩擦による外需の低迷が見受けられました。

さらに、米中貿易摩擦の今後の推移、英国のEU離脱決定後の行方、中東情勢の先行きへの不安、金融資本市場の変動、各国・地域における地政学的リスクなど、注視が必要な状況が続いています。

このような状況のもと、当社は2018年8月10日発表の中期経営計画「TGC300」に基づき、お客様との関係強化、積極的な拡販、新製品の開発、コスト削減に取り組み、当第3四半期累計期間の売上高は18,036,715千円(前年同期比+799,530千円、+4.6%)、営業利益は1,505,628千円(前年同期比+149,915千円、+11.1%)、経常利益は1,406,505千円(前年同期比+75,723千円、+5.7%)、四半期純利益は908,120千円(前年同期比+42,193千円、+4.9%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【感光性材料事業】

半導体メモリ市況、およびディスプレイ市況の減速があったものの、ロジック向け製品は好調が続きました。また、新規EUV世代向け感光性材料も需要が着実に拡大し、当社では新規領域製品となる半導体後工程向け材料の伸長もあり、感光性材料全体の売上は増加しました。

この結果、同事業の売上高は10,428,771千円(前年同期比+962,806千円、+10.2%)、営業利益は1,096,718千円(前年同期比+155,267千円)となりました。

【化成品事業】

電子材料関連は、先端半導体プロセス向け高付加価値・高純度溶剤製品は堅調に推移したものの、スマートフォン・データセンター向けの半導体メモリ需要の回復には至らず、売上は減少しました。

香料材料製品は、世界的に厳しくなる調達標準に対応し、品質の安定化および安定供給に努めたことにより、海外の香料メーカーを中心に売上は順調に増加しました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は7,607,944千円(前年同期比△163,276千円、△2.1%)、営業利益は408,910千円(前年同期比△5,351千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間における総資産は36,452,025千円となり、前事業年度末比413,922千円の減少となりました。

流動資産は14,701,350千円で、前事業年度末比2,527,534千円の減少となりました。これは主に固定資産の取得等に伴う現金及び預金2,201,954千円の減少、商品及び製品774,475千円の増加、原材料及び貯蔵品176,179千円の減少によるものであります。

固定資産は21,750,675千円で、前事業年度末比2,113,611千円の増加となりました。これは主に取得による増加3,841,349千円、減価償却による減少1,612,897千円によるものであります。

流動負債は15,430,834千円で、前事業年度末比1,334,323千円の減少となりました。これは主に法人税の支払いによる未払法人税等266,344千円の減少、設備関係債務872,070千円の支払いによる減少によるものであります。

固定負債は11,359,680千円で、前事業年度末比100,126千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金83,851千円の増加によるものであります。

純資産合計は9,661,510千円で、前事業年度末比820,275千円の増加となりました。これは主に四半期純利益908,120千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,412,383	3,210,428
受取手形及び売掛金	4,314,844	3,931,647
商品及び製品	4,969,076	5,743,552
仕掛品	129,303	47,237
原材料及び貯蔵品	1,724,006	1,547,827
その他	683,634	224,646
貸倒引当金	△4,364	△3,991
流動資産合計	17,228,884	14,701,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,727,069	7,553,454
機械装置及び運搬具(純額)	5,218,584	4,935,279
土地	4,835,945	4,835,945
その他(純額)	784,673	3,485,182
有形固定資産合計	18,566,273	20,809,861
無形固定資産		
その他	417,335	392,320
無形固定資産合計	417,335	392,320
投資その他の資産		
その他	653,454	548,492
投資その他の資産合計	653,454	548,492
固定資産合計	19,637,063	21,750,675
資産合計	36,865,948	36,452,025
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,094,827	3,072,111
短期借入金	5,350,000	5,600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,427,200	3,182,219
未払法人税等	406,403	140,058
賞与引当金	468,760	267,969
その他の引当金	54,254	32,278
その他	3,963,712	3,136,197
流動負債合計	16,765,158	15,430,834
固定負債		
長期借入金	9,207,500	9,236,780
退職給付引当金	1,428,314	1,512,165
役員退職慰労引当金	53,040	65,605
その他	570,699	545,128
固定負債合計	11,259,554	11,359,680
負債合計	28,024,712	26,790,514

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	5,758,917	6,547,980
自己株式	△89,205	△89,369
株主資本合計	8,830,190	9,619,089
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,986	42,421
繰延ヘッジ損益	1,058	—
評価・換算差額等合計	11,044	42,421
純資産合計	8,841,235	9,661,510
負債純資産合計	36,865,948	36,452,025

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	17,237,185	18,036,715
売上原価	13,642,336	14,228,894
売上総利益	3,594,849	3,807,821
販売費及び一般管理費	2,239,136	2,302,193
営業利益	1,355,712	1,505,628
営業外収益		
受取利息	610	565
受取配当金	6,643	6,157
為替差益	31,098	—
受取家賃	15,511	14,724
受取保険金	2,235	21,883
その他	23,627	24,034
営業外収益合計	79,727	67,365
営業外費用		
支払利息	84,864	90,569
為替差損	—	41,637
その他	19,793	34,280
営業外費用合計	104,658	166,488
経常利益	1,330,781	1,406,505
特別利益		
投資有価証券売却益	21,673	—
特別利益合計	21,673	—
特別損失		
固定資産除却損	31,782	12,346
投資有価証券評価損	—	28,055
特別損失合計	31,782	40,401
税引前四半期純利益	1,320,672	1,366,103
法人税、住民税及び事業税	382,166	346,388
法人税等調整額	72,579	111,594
法人税等合計	454,745	457,983
四半期純利益	865,926	908,120

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,465,964	7,771,220	17,237,185	—	17,237,185
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	184,190	184,190	△184,190	—
計	9,465,964	7,955,410	17,421,375	△184,190	17,237,185
セグメント利益	941,451	414,261	1,355,712	—	1,355,712

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,428,771	7,607,944	18,036,715	—	18,036,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	204,766	204,766	△204,766	—
計	10,428,771	7,812,710	18,241,482	△204,766	18,036,715
セグメント利益	1,096,718	408,910	1,505,628	—	1,505,628

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。